

日本原子力学会核燃料部会

平成16年第3回運営委員会議事録

日時 : 平成16年9月16日(木)10:30~11:50

場所 : 京都大学吉田キャンパス 工学部物理系210号室

出席者 : (順不同 敬称略)

山脇部会長、森副部会長、安部田委員、伊東委員、大沢委員、木下委員、大澤委員、木原委員、佐藤委員、杉崎委員、寺井委員、萩委員、林委員、永瀬殿(更田委員代理)、藤田(千)委員、藤田(元)委員、三島殿(米田委員代理)、和田委員

議事

1. 前回議事録確認

大澤委員より前回議事録が報告され本運営委員会にて承認された。

2. 運営委員の追加について

日本原電 藤田委員の運営委員会への追加が報告され、本運営委員会にて承認された。

3. 水炉燃料専門家会議(2005年)開催について

木下委員から資料3にて報告された。

- ・CALL for Paperの最新版が紹介された。テクニカルトラックのトラック6が抜けていたため、訂正することとした。
- ・来週のANSのPreparation Meetingで本件開催について紹介する予定(原電 出澤氏)
- ・IAEAのブルガリアでの国際会議と日時が重なっていることが紹介された。それに対し、部会としては特に調整等の対応は行わない方針。
- ・プログラム委員は韓国の3名は確定している。中国とカナダはまだ決まっていない。
- ・OECDのビタンザさんは、更田委員が了承を頂いた。

4. 海外との協力について

森副部会長から資料4にて報告された。

- ・KNSとAESJの合同セミナーが10月27日に行われる予定であり、韓国側から3名の招待要請があり、核燃料部会からは更田委員が要請されていたが諸事情により、林委員が参加することで調整を進めることとした。
- ・2005年春の大会には韓国を招待する予定であるが、中国は予算の関係で招待しない予定。
- ・平成17年8月1日(月)~8月3日(水)において、日韓合同セミナーを行う予定としている。核融合工学部会が主催世話役となり、材料部会も参加することとなっている。核燃料部会としては、共催メンバーとなり何らかの形で参加する方針とする(詳細は今後調整)が、夏期セミナーについては従来通り日本で別途行うこととした。

5. 平成17年度16年度夏期セミナーについて

伊東委員から資料5にて報告された。

- ・第19回核燃料部会夏期セミナーは平成16年7月14日~17日に洞爺湖ホテルサンパレスで行われ、参加者は67名であった。
- ・収入は1,233,000円で、支出は1,046,512円で収支は186,488円のプラスであった。この残金186,488円は核燃料部会の運営費に繰り入れられた。
- ・アンケート結果によると夏期セミナーは概ね好評であり、特に「原子力教育を考える」パネル討論が好評であった。

6. 平成17年度夏期セミナーについて

安部田委員から資料6にて報告された。

- ・第20回核燃料・夏期セミナーを平成17年7月7日(木)~9日(土)に山形県飽海郡遊佐町鳥海温泉で行うことが提案され、了承された。今後の講演テーマの相談、講師のアレンジ等を進め

ることとなる。

7. 部会HPについて

木原委員から資料7にて報告された。

前回(平成16年7月15日)以降の改訂内容は次の通り。

- ・(お知らせ)水炉燃料専門家会議案内を追加:8/5更新
- ・運営委員会議事録を更新:8/5更新
- ・第19回核燃料夏期セミナー 開催報告速報を追加:8/5更新
- ・第19回核燃料夏期セミナー 集合写真を追加:8/5更新

今後の予定は次の通り。

- ・H16年第2回核燃料部会運営委員会議事録(7/15)の更新
- ・H16年第3回核燃料部会運営委員会議事録(9/16)の更新
- ・メーリングリストへの部会員登録

8. 学会誌への連載講座について

森副部長より資料8にて報告された。

- ・第10回の電力担当分原稿案の提出があり、内容を確認中である。
- ・また、第10回の「まとめ」については山脇部会長に執筆して頂くことになった。

9. 部会報の企画立案状況について

萩委員より資料9にて報告された。

- ・新規部会報掲載は「後輩に物申す」という名称とした。
- ・特別講演は、今回企画セッション等もあるため省略とした。
- ・国際会議は現在1件のみであるため、9月のANSミーティングについては木下氏、また10月の日韓合同セミナーについては林氏に執筆依頼することとした。
- ・ニュースは、2005年水炉燃料国際会議について石隈氏に執筆依頼することとなった。

10. その他

大澤委員より核燃料部会 平成16年度予算及び平成15年度決算(資料10-1)、部会員の推移(資料10-2)、委員名簿(資料10-3, 4)が報告された。

- ・平成16年度の収入は、配付金収入277,000円、日中韓Proceedings売り上げ2,000円、夏期セミナー残金186,488円の計465,488円となっている。支出の見込みは584,000円であり、収支差額は▲118,512円の見込みである。大幅なマイナスとなる要因としては、会報の決算が遅れて印刷費、発送費が平成16年度の収支に計上されたためである。
- ・会員数の推移は平成16年9月10日現在で388名である、順調に増えている。
- ・運営委員名簿で木下委員と岩田委員のものが古かったため修正することとした。

今後の予定

- ・平成16年度第4回運営委員会(平成16年12月開催予定)
- ・平成16年第5回運営委員会と会員総会
(平成17年3月29日(火)~31日(木)春の大会時:於開、東海大学)

以上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)